

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-188826

(43)Date of publication of application : 10.07.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 11-375266

(71)Applicant : AIU INSURANCE COMPANY

(22)Date of filing : 28.12.1999

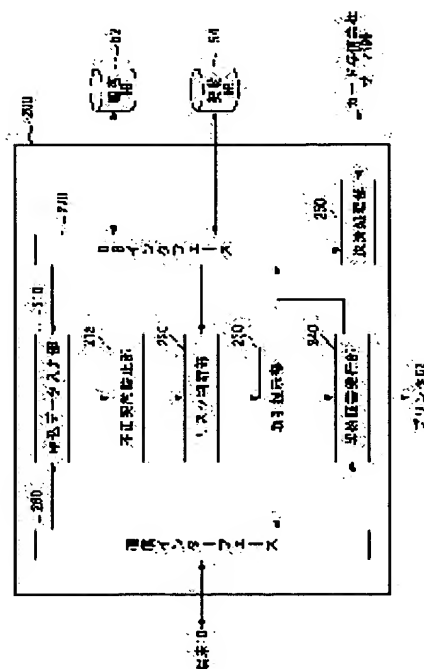
(72)Inventor : SAITO HAJIME
TAKEDA MASAO
TASHIRO AKIRA
NARUMI KAZUE
GOTO JUNKO
NEGISHI TAKAHIRO

(54) CONTRACT PROCESSOR AND CONTRACT DOCUMENT ISSUANCE SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a contract processor for communicating with the terminal of a user and performing the contract processing of a transaction.

SOLUTION: This contract processor for communicating with the terminal of the user and performing a transaction processing is provided with an application data input part 210 for inputting the application data of the transaction received from the terminal, a risk judgment part 220 for judging the risk of the transaction based on the application data, a transaction presentation part 230 for deciding plural transaction candidates based on the risk of the transaction, transmitting them to the terminal and presenting them and a contract document issuance part 240 for performing the contract of the transaction based on the selected transaction candidate and issuing a written contract if the terminal selects one of the transaction candidates presented by the transaction presentation part.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 21.04.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-188826

(P2001-188826A)

(43) 公開日 平成13年7月10日 (2001.7.10)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

テマコード (参考)

Z 5 B 0 4 9

審査請求 有 請求項の数26 O L (全 21 頁)

(21) 出願番号 特願平11-375266
(22) 出願日 平成11年12月28日 (1999. 12. 28)

(71) 出願人 599172070
エイアイユーインシュアランスカンパニー
(エイアイユー保険会社)
東京都千代田区丸の内一丁目1番3号
(72) 発明者 斎藤 一
東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 エ
イアイユーインシュアランスカンパニー
(エイアイユー保険会社) 内
(74) 代理人 100104156
弁理士 龍華 明裕

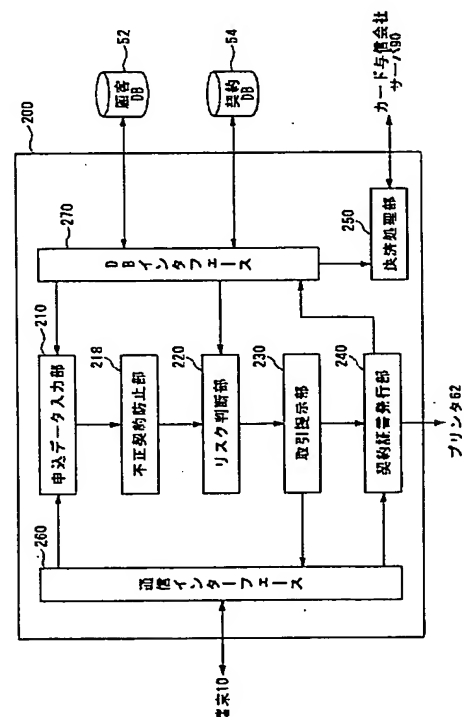
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 契約処理装置及び契約証書発行システム

(57) 【要約】

【課題】 利用者の端末と通信し、取引の契約処理を行う契約処理装置を提供する。

【解決手段】 利用者の端末と通信して、取引処理を行う契約処理装置であって、前記端末から受信する取引の申込データを入力する申込データ入力部210と、前記申込データに基づいて、前記取引のリスクを判断するリスク判断部220と、前記取引の前記リスクに基づいて複数の取引候補を決定し、前記端末に送信して提示する取引提示部230と、前記端末が、前記取引提示部の提示する前記取引候補の1つを選択した場合に、選択された前記取引候補に基づいて前記取引の契約を行い、契約書を発行する契約証書発行部240とを備えた。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者の端末と通信して、取引処理を行う契約処理装置であって、
前記端末から受信する取引の申込データを入力する申込データ入力部と、

前記申込データに基づいて、前記取引のリスクを判断するリスク判断部と、

前記取引の前記リスクに基づいて複数の取引候補を決定し、前記端末に送信して提示する取引提示部と、

前記端末が、前記取引提示部の提示する前記取引候補の1つを選択した場合に、選択された前記取引候補に基づいて前記取引の契約を行う取引契約部とを備えたことを特徴とする契約処理装置。

【請求項2】 前記取引契約部は、前記取引が成立したことを証明する契約証書を発行し、前記端末または前記端末の利用者に送信することを特徴とする請求項1に記載の契約処理装置。

【請求項3】 前記申込データは、前記取引の内容及び前記取引の契約者に関する情報を含み、
前記リスク判断部は、前記取引内容及び前記取引の前記契約者のリスク要因に基づいて、前記取引の前記リスクを判断することを特徴とする請求項1に記載の契約処理装置。

【請求項4】 前記端末の利用者による取引履歴を格納する利用者データベースをさらに備え、
前記リスク判断部は、前記申込データ及び前記取引履歴に基づいて、前記取引のリスクを判断することを特徴とする請求項1に記載の契約処理装置。

【請求項5】 前記取引提示部は、前記リスク判断部が判断する前記取引の前記リスクに基づいて、料金が異なる前記取引候補を決定することを特徴とする請求項3または4に記載の契約処理装置。

【請求項6】 前記取引は保険取引であり、前記申込データは、保険の内容に関するデータ、保険の申込人に関するデータ、及び被保険者に関するデータを含み、
前記リスク判断部は、前記保険内容、前記保険の前記申込人、前記保険の前記被保険者のリスク要因に基づいて、前記保険取引のリスクを判断することを特徴とする請求項1に記載の契約処理装置。

【請求項7】 前記取引提示部は、前記リスク判断部が判断する前記保険取引の前記リスクに基づいて、保険種別、保険期間、保険金及び補償内容の異なる前記取引候補を決定して提示することを特徴とする請求項6に記載の契約処理装置。

【請求項8】 前記リスク判断部は、前記保険が対象となる地域によって異なるリスク要因を考慮して、前記保険取引の前記リスクを判断することを特徴とする請求項7に記載の契約処理装置。

【請求項9】 前記保険種別は、生命保険または火災保険、自動車保険、旅行保険を含む傷害保険、賠償責任保

険を含む損害保険の少なくとも1つを含み、前記リスク要因は、医療費用、盗難被害、災害、賠償意識、交通事故等のリスク要因の地域格差に基づいて前記保険取引の前記リスクを判断することを請求項8に記載の契約処理装置。

【請求項10】 前記リスク判断部は、前記保険の前記申込人及び前記被保険者の年齢、性別、職業、病歴、保険金請求歴、及び保険契約歴の少なくとも1つのリスク要因に基づいて、前記保険取引の前記リスクを判断することを特徴とする請求項7に記載の契約処理装置。

【請求項11】 前記取引提示部は、前記保険の前記被保険者の人数によって、保険料の異なる前記前記取引候補を決定して提示することを特徴とする請求項7に記載の契約処理装置。

【請求項12】 前記保険契約の保険金受取人として前記被保険者の法定相続人が含まれることを示す情報を設定する不正契約防止部をさらに備えたことを特徴とする請求項6に記載の契約処理装置。

【請求項13】 前記不正契約防止部は、前記保険の前記申込人と前記被保険者とが同一でない場合に、前記保険契約の保険金受取人として前記被保険者の法定相続人が含まれることを示す情報を設定し、前記保険金受取人として前記被保険者の前記法定相続人が含まれることを前記端末の前記利用者に通知することを特徴とする請求項12に記載の契約処理装置。

【請求項14】 前記不正契約防止部は、前記保険の前記申込人と前記被保険者の姓が一致しない場合に、前記申込人が前記被保険者の家族でないため申込ができないことを前記端末の前記利用者に警告し、前記保険取引の前記契約を成立させないことを特徴とする請求項12に記載の契約処理装置。

【請求項15】 前記保険取引は旅行保険取引であり、前記申込データは、旅行期間、旅行地域、及び旅行目的を含み、

前記リスク判断部は、前記旅行保険取引の申込者、被保険者、前記旅行期間、前記旅行地域、及び前記旅行目的のリスク要因に基づいて、前記旅行保険のリスクを判断することを特徴とする請求項6に記載の契約処理装置。

【請求項16】 公衆回線に接続した端末の利用者が契約処理装置と通信して取引を行い、公共の場所に設置された専用装置から取引の契約証書の発行を受けることのできる契約証書発行システムであって、

利用者の端末と公衆回線を介して接続し、前記端末に契約証書の識別番号を通知する契約処理装置と、

前記契約処理装置と専用回線を介して接続し、前記利用者が利用できる公共の場所に設置された専用装置とを備え、

前記専用装置は、

前記識別番号を通知された前記利用者に前記識別番号を含む識別情報を入力させる識別情報入力部と、

前記契約処理装置から前記識別情報の照合の成否を受信する照合結果受信部と、

前記照合が成功した場合に、前記識別情報で識別される前記契約証書の内容を受信する契約情報受信部と、

前記契約証書の内容を印刷する専用紙を保管し、前記専用紙を給紙する給紙部と、

前記契約証書の内容に基づいて前記給紙部が給紙する専用紙に前記契約証書の内容を印刷する印刷部とを備えたことを特徴とする契約証書発行システム。

【請求項 17】 前記給紙部は鍵付きであり、第 3 者が専用紙を差し替えることができないようにしたことを特徴とする請求項 16 に記載の契約証書発行システム。

【請求項 18】 ネットワークを介して端末の利用者に物品または証券等の商品を販売する商品購入サーバと連携して、保険取引処理を行う契約処理装置であって、前記商品購入サーバから前記商品に関する情報を受信する購入情報入力部と、

前記購入情報入力部が受信した前記商品情報に基づいて、前記商品の購入に対する保険取引の複数の取引候補を決定し、前記端末または前記商品購入サーバに送信して提示する取引提示部と、

前記端末または前記商品購入サーバが、前記取引提示部の提示する前記取引候補の 1 つを選択した場合に、選択された前記取引候補に基づいて前記取引の契約を行う取引契約部とを備えたことを特徴とする契約処理装置。

【請求項 19】 前記商品情報に基づいて、前記商品に対する前記保険取引のリスクを判断するリスク判断部をさらに備え、

前記取引提示部は、前記リスク判断部が判断する前記保険取引の前記リスクに基づいて、前記保険取引の前記複数の取引候補を決定し、前記端末または前記商品購入サーバに送信して提示することを特徴とする請求項 18 に記載の契約処理装置。

【請求項 20】 前記購入情報入力部は、前記商品購入サーバから前記商品の購入者に関する情報をさらに受信し、

前記リスク判断部は、前記購入情報入力部が受信した前記商品情報及び前記購入者情報に基づいて、前記商品に対する前記保険取引の前記リスクを判断することを特徴とする請求項 19 に記載の契約処理装置。

【請求項 21】 前記購入情報受信部は、前記商品購入サーバから商品を販売する代理店の代理店識別情報を受信し、

前記保険契約が成立した場合に、前記代理店識別情報に基づいて、前記代理店に手数料を支払う手段を有することを特徴とする請求項 18 に記載の契約処理装置。

【請求項 22】 前記商品は航空券、宿泊券、または旅行ツアーであり、前記保険は旅行保険であり、前記商品情報は旅行先、旅行目的、旅行期間に関する情報であり、前記購入者情報は、前記購入者の年齢、性別、職

業、病歴、保険金請求歴、及び保険契約歴の少なくとも 1 つであることを特徴とする請求項 18 に記載の契約処理装置。

【請求項 23】 利用者の端末と通信して、取引処理を行うコンピュータ用のプログラムを格納した記録媒体であって、前記プログラムが、

前記端末から受信する取引の申込データを入力させる申込データ入力モジュールと、

前記申込データに基づいて、前記取引のリスクを判断させるリスク判断モジュールと、

前記取引の前記リスクに基づいて複数の取引候補を決定し、前記端末に送信して提示させる取引提示モジュールと、

前記端末が、前記取引提示部の提示する前記取引候補の 1 つを選択した場合に、選択された前記取引候補に基づいて前記取引の契約を行わせる取引契約モジュールとを備えたことを特徴とする記録媒体。

【請求項 24】 ネットワークを介して端末の利用者に物品または証券等の商品を販売する商品購入サーバと連携して、保険取引処理を行うコンピュータ用のプログラムを格納した記録媒体であって、前記プログラムが、

前記商品購入サーバから前記商品に関する情報を受信させる購入情報入力モジュールと、

前記購入情報入力部が受信した前記商品情報に基づいて、前記商品の購入に対する保険取引の複数の取引候補を決定し、前記端末または前記商品購入サーバに送信して提示させる取引提示モジュールと、

前記端末または前記商品購入サーバが、前記取引提示部の提示する前記取引候補の 1 つを選択した場合に、選択された前記取引候補に基づいて前記取引の契約を行わせる取引契約モジュールとを備えたことを特徴とする記録媒体。

【請求項 25】 利用者の端末と通信して、保険契約を行う保険契約方法であって、

前記端末から前記保険契約の申込データを受信し、

前記申込データに基づいて、前記保険契約のリスクを判断し、

前記保険契約の前記リスクに基づいて複数の契約候補を決定し、前記端末に送信して提示し、

前記端末が、前記契約候補の 1 つを選択した場合に、選択された前記契約候補に基づいて前記保険契約を成立させることを特徴とする保険契約処理方法。

【請求項 26】 ネットワークを介して端末の利用者が購入する物品または証券等の商品に対して、保険契約を行う保険契約方法であって、

前記商品に関する情報及び前記商品の購入者に関する情報を受信し、

前記商品情報及び前記購入者情報を用いて、前記商品に対する保険契約の複数の契約候補を提示し、

前記購入者が、前記契約候補の 1 つを選択した場合に、

選択された前記契約候補に基づいて前記保険契約を成立させることを特徴とする保険契約処理方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、取引処理を行う契約処理装置に関する。特に本発明は、利用者の端末と通信し、取引の契約処理を行う契約処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の保険契約は代理店の営業担当者が印刷された申込書を持って顧客先に出向くかまたは申込書を顧客に郵送し、顧客が申込書に記入、捺印した後、申込書を代理店に返送することにより、申込手続きを行っていた。記入された申込書からOCR処理または手入力により、申込データを作成し、ホストコンピュータに送信する。ホストコンピュータは、申込データの内容を確認して、事務センターにおいて保険証券を発行し、顧客または代理店に郵送する。

【0003】また、旅行保険の場合、航空会社や旅行代理店で航空券やツアーの購入を行うと同時に、旅行保険の契約申込を行うことが多い。航空会社や旅行代理店は、航空券やツアーの購入のために、顧客の氏名や住所などの顧客情報、また旅行先や旅行日程などのチケット購入情報などを自社のコンピュータに入力することが多い。顧客が航空券やツアーの購入と同時に、旅行保険の申込をする場合、営業担当者は、顧客情報や旅行情報を記入した用紙を元に、マニュアル作業で保険契約証を発行していた。発行した保険契約証は顧客に手作業で郵送され、契約データは保険会社の事務センターで手入力により作成され、バッチ処理でホストコンピュータにアップロードされる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】印刷された申込書から申込データを抽出して、ホストコンピュータに入力するには手間と時間がかかるという問題があった。また、旅行保険のように、他の商品の購入と同時に、保険契約を行う場合、商品購入の際に、顧客や商品の情報を既にコンピュータに入力しているにもかかわらず、保険申込の際、再度顧客や商品に関する情報を入力する必要があり、手間と時間がかかるという問題があった。

【0005】そこで本発明は、上記の課題を解決するために、利用者の端末と通信し、取引の契約処理を行う契約処理システムを提供することを目的とする。この目的は特許請求の範囲における独立項に記載の特徴の組み合わせにより達成される。また従属項は本発明の更なる有利な具体例を規定する。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明の第1の形態においては、利用者の端末と通信して、取引処理を行う契約処理装置であって、端末から受信する取引の申込データを入力する申込データ入力

部と、申込データに基づいて、取引のリスクを判断するリスク判断部と、取引のリスクに基づいて複数の取引候補を決定し、端末に送信して提示する取引提示部と、端末が、取引提示部の提示する取引候補の1つを選択した場合に、選択された取引候補に基づいて取引の契約を行う取引契約部とを備えたことを特徴とする。

【0007】取引契約部は、取引が成立したことを証明する契約証書を発行し、端末または端末の利用者に送信してもよい。

【0008】申込データは、取引の内容及び取引の契約者に関する情報を含み、リスク判断部は、取引内容及び取引の契約者のリスク要因に基づいて、取引のリスクを判断してもよい。端末の利用者による取引履歴を格納する利用者データベースをさらに備え、リスク判断部は、申込データ及び取引履歴に基づいて、取引のリスクを判断してもよい。取引提示部は、リスク判断部が判断する取引のリスクに基づいて、料金が異なる取引候補を決定してもよい。

【0009】取引は保険取引であり、申込データは、保険の内容に関するデータ、保険の申込人に関するデータ、及び被保険者に関するデータを含み、リスク判断部は、保険内容、保険の申込人、保険の被保険者のリスク要因に基づいて、保険取引のリスクを判断してもよい。

【0010】取引提示部は、リスク判断部が判断する保険取引のリスクに基づいて、保険種別、保険期間、保険金及び補償内容の異なる取引候補を決定して提示してもよい。リスク判断部は、保険が対象となる地域によって異なるリスク要因を考慮して、保険取引のリスクを判断してもよい。

【0011】保険種別は、生命保険または火災保険、自動車保険、旅行保険を含む傷害保険、賠償責任保険を含む損害保険の少なくとも1つを含み、リスク要因は、医療費用、盗難被害、災害、賠償意識、交通事情等のリスク要因の地域格差に基づいて保険取引のリスクを判断してもよい。

【0012】リスク判断部は、保険の申込人及び被保険者の年齢、性別、職業、病歴、保険金請求歴、及び保険契約歴の少なくとも1つのリスク要因に基づいて、保険取引のリスクを判断してもよい。

【0013】取引提示部は、保険の被保険者の人数によって、保険料の異なる取引候補を決定して提示してもよい。

【0014】保険契約の保険金受取人として被保険者の法定相続人が含まれることを示す情報を設定する不正契約防止部をさらに備えてもよい。

【0015】不正契約防止部は、保険の申込人と被保険者とが同一でない場合に、保険契約の保険金受取人として被保険者の法定相続人が含まれることを示す情報を設定し、保険金受取人として被保険者の法定相続人が含まれることを端末の利用者に通知してもよい。

【0016】不正契約防止部は、保険の申込人と被保険者の姓が一致しない場合に、申込人が被保険者の家族でない場合、申込ができないことを端末の利用者に警告し、保険取引の契約を成立させないようにしてもよい。

【0017】保険取引は旅行保険取引であり、申込データは、旅行期間、旅行地域、及び旅行目的を含み、リスク判断部は、旅行保険取引の申込者、被保険者、旅行期間、旅行地域、及び旅行目的のリスク要因に基づいて、旅行保険のリスクを判断してもよい。

【0018】本発明の第4の形態においては、公衆回線に接続した端末の利用者が契約処理装置と通信して取引を行い、公共の場所に設置された専用装置から取引の契約証書の発行を受けることのできる契約証書発行システムであって、利用者の端末と公衆回線を介して接続し、端末に契約証書の識別番号を通知する契約処理装置と、契約処理装置と専用回線を介して接続し、利用者が利用できる公共の場所に設置された専用装置とを備え、専用装置は、識別番号を通知された利用者に識別番号を含む識別情報を入力させる識別情報入力部と、契約処理装置から識別情報の照合の成否を受信する照合結果受信部と、照合が成功した場合に、識別情報で識別される契約証書の内容を受信する契約情報受信部と、契約証書の内容を印刷する専用用紙を保管し、専用用紙を給紙する給紙部と、契約証書の内容に基づいて給紙部が給紙する専用用紙に契約証書の内容を印刷する印刷部とを備えた。

【0019】給紙部は鍵付きであり、第3者が専用用紙を差し替えることができないようにしてもよい。

【0020】本発明の第3の形態においては、ネットワークを介して端末の利用者に物品または証券等の商品を販売する商品購入サーバと連携して、保険取引処理を行う契約処理装置であって、商品購入サーバから商品に関する情報を受信する購入情報入力部と、購入情報入力部が受信した商品情報に基づいて、商品の購入に対する保険取引の複数の取引候補を決定し、端末または商品購入サーバに送信して提示する取引提示部と、端末または商品購入サーバが、取引提示部の提示する取引候補の1つを選択した場合に、選択された取引候補に基づいて取引の契約を行う取引契約部とを備えた。

【0021】商品情報に基づいて、商品に対する保険取引のリスクを判断するリスク判断部をさらに備え、取引提示部は、リスク判断部が判断する保険取引のリスクに基づいて、保険取引の複数の取引候補を決定し、端末または商品購入サーバに送信して提示してもよい。

【0022】購入情報入力部は、商品購入サーバから商品の購入者に関する情報をさらに受信し、リスク判断部は、購入情報入力部が受信した商品情報及び購入者情報に基づいて、商品に対する保険取引のリスクを判断してもよい。

【0023】購入情報受信部は、商品購入サーバから商品を販売する代理店の代理店識別情報を受信し、保険契

約が成立した場合に、代理店識別情報に基づいて、代理店に手数料を支払う手段を有してもよい。

【0024】商品は航空券、宿泊券、または旅行ツアーであり、保険は旅行保険であり、商品情報は旅行先、旅行目的、旅行期間に関する情報であり、購入者情報は、購入者の年齢、性別、職業、病歴、保険金請求歴、及び保険契約歴の少なくとも1つであってもよい。

【0025】本発明の第4の形態においては、利用者の端末と通信して、取引処理を行うコンピュータ用のプログラムを格納した記録媒体であって、プログラムが、端末から受信する取引の申込データを入力させる申込データ入力モジュールと、申込データに基づいて、取引のリスクを判断させるリスク判断モジュールと、取引のリスクに基づいて複数の取引候補を決定し、端末に送信して提示させる取引提示モジュールと、端末が、取引提示部の提示する取引候補の1つを選択した場合に、選択された取引候補に基づいて取引の契約を行わせる取引契約モジュールとを備えた。

【0026】本発明の第5の形態においては、ネットワークを介して端末の利用者に物品または証券等の商品を販売する商品購入サーバと連携して、保険取引処理を行うコンピュータ用のプログラムを格納した記録媒体であって、プログラムが、商品購入サーバから商品に関する情報を受信させる購入情報入力モジュールと、購入情報入力部が受信した商品情報に基づいて、商品の購入に対する保険取引の複数の取引候補を決定し、端末または商品購入サーバに送信して提示させる取引提示モジュールと、端末または商品購入サーバが、取引提示部の提示する取引候補の1つを選択した場合に、選択された取引候補に基づいて取引の契約を行わせる取引契約モジュールとを備えた。

【0027】本発明の第6の形態においては、利用者の端末と通信して、保険契約を行う保険契約方法であって、端末から保険契約の申込データを受信し、申込データに基づいて、保険契約のリスクを判断し、保険契約のリスクに基づいて複数の契約候補を決定し、端末に送信して提示し、端末が、契約候補の1つを選択した場合に、選択された契約候補に基づいて保険契約を成立させることを特徴とする。

【0028】本発明の第7の形態においては、ネットワークを介して端末の利用者が購入する物品または証券等の商品に対して、保険契約を行う保険契約方法であって、商品に関する情報及び商品の購入者に関する情報を受信し、商品情報及び購入者情報を用いて、商品に対する保険契約の複数の契約候補を提示し、購入者が、契約候補の1つを選択した場合に、選択された契約候補に基づいて保険契約を成立させることを特徴とする。

【0029】なお上記の発明の概要は、本発明の必要な特徴の全てを列挙したものではなく、これらの特徴群のサブコンビネーションも又発明となりうる。

【0030】

【発明の実施の形態】以下、発明の実施の形態を通じて本発明を説明するが、以下の実施形態はクレームにかかる発明を限定するものではなく、又実施形態の中で説明されている特徴の組み合わせの全てが発明の解決手段に必須であるとは限らない。

【0031】（実施形態1）本発明の第1の実施形態を説明する。本実施形態の契約処理装置の一例としての保険契約処理装置200は、保険契約の申込から保険証券発行までの保険契約処理を効率的に行うことができる。本実施形態の保険契約処理装置200は、火災保険、自動車保険、旅行保険等を含む傷害保険傷害保険、賠償責任保険等の損害保険、生命保険、簡易保険、共済保険等の保険契約処理を行うことができる。以下では、旅行保険を例に取り、旅行保険の申込から保険証券発行までの契約処理を説明する。

【0032】図1は、本実施形態の保険契約処理装置を含むシステムの全体図である。本システムは全体として、顧客のユーザ端末10と、保険会社の保険契約処理装置200と、クレジットカード会社のCAFIS100とが、通信ネットワークを介して接続された形態である。ユーザ端末10は公衆網である通信ネットワーク30に接続する。保険契約処理装置200は、本実施形態では保険申込サーバ40と、データサーバ50と、事務センタコンピュータ60と、ホストコンピュータ70とに機能を分けて実現される。

【0033】保険申込サーバ40は公衆網である通信ネットワーク30に接続し、ユーザ端末10が通信ネットワーク30を介してアクセスすることのできるサーバである。保険申込サーバ40は、ユーザ端末10がインターネット上でアクセスすることのできるWWW（World Wide Web）のサーバであり、顧客がクレジットカード番号のような個人情報を安全に送信することができるように、SSL（Secured Socket Layer）等のセキュリティの高い通信方式を用いて、ユーザ端末10との間でデータのやりとりをすることが好ましい。

【0034】データサーバ50は、顧客データベース52と契約データベース54にアクセスすることのできるデータベースインタフェースを備え、保険申込サーバ40から保険申込データを受け取り、顧客データベース52及び契約データベース54へ顧客情報や契約情報を登録、更新することができる。データサーバ50は顧客データベース52と契約データベース54から顧客情報や契約情報を抽出し、保険申込サーバ40に提供することもできる。データサーバ50はゲートウェイ80を介して、専用線でクレジットカード会社のカード与信会社サーバ90にアクセスし、保険の申込者のカード番号、有効期限等の照会を行う。カード与信会社サーバ90はCAFIS100によって各社のクレジットカード会社のシステムと接続して、クレジットカード決済を行う。各

クレジットカード会社のシステムは、保険会社のホストコンピュータ70に決済データを送信し、入金処理を行う。

【0035】データサーバ50はカード与信会社サーバ90にクレジットカードの名義人のデータを送り、名義人の照合結果を受け取るようにしてもよい。

【0036】事務センタコンピュータ60は、申込内容が確認された保険契約の申込データ、クレジットカードの決済情報をデータサーバ50から受け取り、ホストコンピュータ70に計上データとして送信する。事務センタコンピュータ60はプリンタ62によって保険取引の契約証64を発行する。発行された契約証64は顧客に郵送される。また事務センタコンピュータ60は顧客からの問い合わせに対応するための処理を行うこともできる。

【0037】ホストコンピュータ70は事務センタコンピュータ60及びカード会社から送られる精算データと計上データを処理し、保険料金支払のステートメント等を発行する。

【0038】保険申込サーバ40、データサーバ50、事務センタコンピュータ60、及びホストコンピュータ70は、保険会社内のプライベートネットワークで接続されており、保険申込サーバ40以外は公衆網からアクセスすることができない。

【0039】図2は、保険契約処理装置200の機能構成図である。保険契約処理装置200は、機能的に申込データ入力部210と、不正契約防止部218と、リスク判断部220と、取引提示部230と、契約証書発行部240と、決済処理部250と、通信インタフェース260と、データベースインタフェース270とを有する。

【0040】通信インタフェース260は、ユーザ端末10と通信ネットワーク30を介してデータ通信を行うインタフェースである。データベースインタフェース270は、顧客データベース52と契約データベース54に接続して、データベースを検索、更新するインタフェースである。

【0041】申込データ入力部210は、顧客の保険申込データを受け取る。告知事項、旅行先、旅行目的、旅行期間、申込人情報、被保険者情報、クレジットカード情報、代理店情報等が入力される。また、申込データ入力部210は顧客データベース52から顧客情報を検索して、顧客の保険契約履歴や登録情報を利用してもよい。

【0042】また、契約データベース54から契約情報を検索して、顧客の過去の保険契約のデータを利用してもよい。

【0043】不正契約防止部218は、申込人情報、被保険者情報を確認し、申込人と被保険者の姓が一致しない場合、エラー処理を行い、申込人が被保険者の家族で

ない場合は保険の申込ができないことを警告する。また、死亡保険金の受取人を被保険者の法定相続人に設定することにより、被保険者もしくは被保険者の家族以外の者が保険金の受取を目的とした犯罪を行うことがないよう、不正契約の成立を防止する。

【0044】リスク判断部220は、保険契約のリスクを判断し、保険取引の取引候補を作成する。リスク判断部220は、申込データ入力部210が入力した申込データ、顧客データベース52から検索した顧客情報、契約データベース54から検索した契約情報をもとに、保険取引のリスクを判断し、複数の保険契約プランを候補として作成する。保険契約プランは、保険種別、保険金額、補償内容、保険料等が異なる。

【0045】取引提示部230は、リスク判断部220がリスク要因を分析して作成した保険契約プランを顧客に提示するため、ユーザ端末10に保険契約プランに関する情報を送信する。ユーザ端末10の利用者は提示された保険契約プランの1つを選択し、選択した情報を取引処理装置200に返信する。

【0046】契約証書発行部240は、ユーザ端末10の利用者が選択した保険契約プランに基づいて、保険契約を成立させ、契約データベース54に契約情報を登録する。決済処理部250は、契約データベース54から契約情報を読み込み、保険料金をクレジットカードで決済するために、カード与信会社サーバ90にクレジットカード情報と保険料金に関する情報を送信し、クレジットカードの照会をした上で、決済を完結させる。契約証書発行部240は、決済処理部250による決済が完結した後、保険取引の契約証書をプリンタ62に印刷する。

【0047】保険契約処理装置200の機能構成要素である申込データ入力部210、不正契約防止部218、リスク判断部220、取引提示部230、契約証書発行部240、決済処理部250、通信インタフェース260、及びデータベースインタフェース270は、一つの装置内に実現されてもよく、複数の装置に分散させて実現されてもよい。本実施形態では、通信インタフェース260、申込データ入力部210、不正契約防止部218、リスク判断部220及び取引提示部230を、保険申込サーバ40内に設け、データベースインタフェース270をデータサーバ50内に設け、契約証書発行部240を事務センタコンピュータ60内に設け、決済処理部250をデータサーバ50及びホストコンピュータ70に設けるが、機能構成要素を複数の装置に分散させる形態はこれに限られるものではない。

【0048】図3は、顧客データベース52に格納される顧客情報の説明図である。顧客データベース52には、顧客毎に、名前、住所、性別、年齢、職業または職種、パスポート番号、クレジットカード番号、病歴、保険金請求歴、事故歴、喫煙有無、薬物等中毒有無、扶養

家族人数、他の保険契約、他社契約謝絶歴有無などの情報が格納される。

【0049】図4は、契約データベース54に格納される契約情報の説明図である。契約データベース54には、保険契約毎に、申込人の氏名、住所などの情報、被保険者の氏名、住所、生年月日、性別、パスポート番号などの情報、クレジットカード名義、クレジットカード番号、クレジットカード与信結果、保険契約種別、保険金額、保険期間、保険料、告知内容、死亡保険金受取人、代理店識別情報の一例としての代理店コード、申込日、契約成立日、保険証券発行日などの情報が格納される。

【0050】旅行保険の補償内容は、基本契約として傷害補償があり、特約として疾病治療費用特約、疾病死亡特約、賠償責任特約、救援者費用特約、携行品特約、自動車運転者賠償責任特約等がある。傷害補償は、旅行行程中の偶然な事故による怪我を直接の原因とする死亡・後遺障害、治療費用等を担保する。疾病治療費用特約は、旅行行程中に発病した病気を原因とする治療費用等を、疾病死亡特約は同じく旅行行程中に発病した病気を原因として死亡した場合を担保する。賠償責任特約は、旅行行程中に他人に怪我をさせたり、他人のものを壊して損害を与えたりすることで法律上の賠償責任を負った場合の賠償金を担保する。救援者費用特約は、旅行行程中に事故による怪我やその間に発病した病気で入院・死亡した場合の移送費用や行方不明または遭難した場合における救助活動、捜索活動にかかる費用を担保する。携行品特約は、旅行行程中に携行品が盗難、破損した場合の携行品の時価額を担保する。

【0051】次に、保険契約処理装置200が行う保険契約処理の流れを説明する。図5は、保険の申込から保険証券の発行までの処理のフローチャートである。申込データ入力部210は、ユーザ端末10の利用者に告知事項を入力させる画面をユーザ端末10に表示する（S100）。ユーザ端末10の利用者は、旅行保険の申込人または被保険者である。図8は、ユーザ端末10に表示される告知事項入力画面の説明図である。被保険者の病歴、保険金請求歴、他保険契約の有無、危険な職務の遂行の有無、危険なスポーツ等の有無、国外からアクセスしていないこと、国外に在住していないことを確認する。ユーザ端末10の利用者は告知事項に「はい」または「いいえ」で答える。送信ボタンを押すと、告知事項に対する利用者の回答データが取引処理装置200に送信され、申込データ入力部210が回答データを受信する。

【0052】申込データ入力部210は告知事項に対する回答データに基づいて、保険申込が受理可能であるかどうかを判定する（S102）。告知事項に対して1つでも「はい」があった場合、エラー処理を行い、ユーザ端末10の利用者に電話、FAX等で保険会社に直接問

い合わせするように促す警告メッセージをユーザ端末10に送信する(S104)。告知事項に対する回答がすべて「いいえ」の場合、ユーザ端末10の利用者に申込データを入力させる画面をユーザ端末10に表示し、申込データの入力処理を行う(S106)。

【0053】図6は、申込データの入力処理S106のフローチャートである。図9は、ユーザ端末10に表示される申込データの入力画面の説明図である。ユーザ端末10の利用者は旅行先、旅行目的、旅行期間を入力する(S130)。旅行先は旅行国または旅行地域を入力する。旅行目的は観光、留学、商用などを入力する。旅行期間は、出発日と帰宅日を入力する。ユーザ端末10の利用者は申込人情報を入力する(S132)。申込人情報は申込人の氏名、住所、電話番号等である。次に被保険者情報を入力する(S134)。被保険者情報は被保険者の氏名、住所、生年月日等である。次にクレジットカード情報を入力する(S136)。クレジットカード情報はクレジットカード会社、クレジットカード番号、有効期限等である。次に取扱代理店情報を入力する(S138)。取扱代理店情報は代理店識別情報の一例である代理店コード及び代理店名である。

【0054】図5に戻って、申込データ入力処理S106の後、セキュリティチェックの処理S107を行う。図7は、セキュリティチェックの処理S107のフローチャートである。不正契約防止部218は申込人と被保険者の姓が一致するかどうかを調べる(S142)。申込人と被保険者の姓が一致しない場合、エラー処理を行い、申込人が被保険者の家族でない場合は保険の申込ができないことを警告するメッセージをユーザ端末10に送信する(S144)。死亡保険金の受取人データを被保険者の法定相続人を示す情報に設定する(S146)。これにより、被保険者の家族ではない者が保険金の受取人になるような保険契約が成立する事故を未然に防ぐ。

【0055】図5に戻って、セキュリティチェック処理S107の後、リスク判断処理S108を行う。リスク判断部220は、申込データ入力部210がユーザ端末10の利用者に入力させた申込データに基づいて、保険契約のリスク要因を分析し、保険契約の種別や特約の有無、保険金額、保険料等を調整したプランを作成する。

【0056】図10は、リスク判断部220が用いるリスク要因分析テーブルである。リスク要因として、旅行国によって異なる地域格差要因、たとえば医療費用の格差、盗難被害の頻度や程度の格差、賠償責任意識の格差、救援者費用の格差、交通事情の格差等がある。これらの地域格差要因によって、保険契約の提案プランを調整する。たとえば、医療費用の格差の場合、傷害保険において、北米や欧州では高めの治療費用保険金を設定し、アジアでは低めの治療費用保険金を設定する。盗難被害の多い、フランスやイタリアを旅行する場合、携行

品保険の特約を付けて保険金を高めに設定する。賠償意識の高いアメリカへの旅行の場合、賠償責任保険の保険金を増額にする。また救援者費用に関しては、旅行国への往復の航空運賃の違いによって、保険金を増減させる。またアメリカやカナダに旅行し、レンタカーを手配した場合、自動車運転者賠償責任の特約を付帯させる。

【0057】図11は、リスク判断部220が用いる保険料決定要因テーブルである。保険料決定要因として、たとえば旅行国、旅行期間、旅行目的、及び旅行人数がある。リスク判断部220は、旅行国によって異なる保険料を設定する。保険料は随時更新されており、最新の情報がテーブルに格納される。また旅行期間が長くなるほど一日当たりの保険料が安くなるように割引率を設定する。旅行目的に対しては、危険な職務の遂行の場合、危険なスポーツを行う場合などに保険料を割増する。商用、観光、留学などの旅行目的の違いによって保険料の増減率を決めてもよい。旅行人数に対しては、被保険者人数によって保険料を割引する。

【0058】図10及び図11の示したリスク要因分析テーブル及び保険料決定要因テーブルは、契約データベース54に格納されて、リスク判断部220に提供されてもよい。

【0059】図5に戻って、リスク判断部220がリスク要因、保険料決定要因を分析した結果に基づいて、取引提示部230は、保険種別、特約の有無、保険金、保険料の異なる保険契約プランの候補を作成し、ユーザ端末10に送信し、利用者に提示する(S110)。取引提示部230は、保険期間が旅行期間に等しいか、旅行期間よりも長くなるように保険期間を設定する。図12は、ユーザ端末10に表示される保険契約プランの説明図である。Aタイプ、Bタイプのフライトプラン、C、D、Eタイプのエコノミープランが候補として挙げられ、それぞれの候補に対して、傷害保険、疾病保険、賠償責任保険、救援者費用保険、携行品保険の保険金額が異なる契約プランが提示される。また、各契約プランの保険料は、旅行期間によって異なり、たとえば旅行期間が長くなるほど一日当たりの保険料は安くなるように、保険金額が低いほど保険料が安くなるように保険料率が設定され、提示される。

【0060】ユーザ端末10の利用者は提示されたプランの1つを選択し、保険契約処理装置200に選択結果を送信する(S112)。契約証書発行部240は、選択結果に基づいて、保険料を決め、決済処理部250に、保険料の決済を行わせる。決済処理部250はクレジットカードの照会を行う(S113)。申込人の氏名とクレジットカードの名義人が一致しない場合は、エラーになり、クレジットカードの照会ができなかったため、保険契約が成立しない旨を警告するメッセージをユーザ端末10に送信する。クレジットカードの照会が成功した場合、契約証書発行部240は、選択された保険

契約プランに基づいて、契約証64をプリンタ62により印刷し、ユーザ端末10の利用者に郵送する(S114)。

【0061】図13は契約証64の説明図である。フィールド710には契約証書を識別する契約証番号、フィールド712には契約日、フィールド714には被保険者のパスポート番号、フィールド720には被保険者の情報が記載される。フィールド730には保険契約内容が保険金額とともに記載される。フィールド740には保険契約者の情報が記載される。フィールド750には旅行先、フィールド752には旅行目的、フィールド754には保険期間が記載される。フィールド756には契約タイプ、フィールド758には保険料が記載される。フィールド760には死亡保険金の受取人が記載される。死亡保険金の受取人は被保険者の法定相続人であることが記載される。被保険者の法定相続人以外の者が死亡保険金を受け取る不正な保険契約の成立を防止するために不可欠な記載である。フィールド762には取扱代理店を示すコードが記載される。

【0062】上記の説明では、申込人と被保険者の姓が一致するかどうかを事前チェックし、申込人が被保険者の家族ではない場合に、保険申込を成立させないようにしたが、団体旅行の場合など、申込人と被保険者が家族でない場合に、保険契約を行えるようにしてもよい。その場合、申込人と被保険者の姓が一致しない場合でも、申込処理を進めるが、死亡保険金の受取人は被保険者の法定相続人に設定されるため、被保険者の家族ではない者が保険金の受取人になるような保険契約が成立する事故を未然に防ぐことができる。

【0063】また、上記の説明では、告知事項に対して1つでも「はい」があると、保険申込を受理しないようにしたが、告知事項に基づいて保険契約のリスク要因を分析し、保険料を割増したり、特約を付帯させるなどの保険契約プランを提示するようにしてもよい。

【0064】また、利用者が代理店識別情報を入力した場合、該当する代理店の営業成績を示す情報を更新するようにしてもよい。代理店識別情報の入力を必須とし、代理店識別情報の入力がない場合に、保険契約の申込ができないようにしてもよい。

【0065】また、上記の説明では、利用者が申込データを入力してから、保険取引のリスクを判断し、保険取引の候補を提示したが、始めに保険取引の候補を利用者に提示し、利用者が保険取引の候補に対して必要なデータを入力してから、リスクを判断し、再度、利用者に合った保険取引の候補を提示するようにしてもよい。

【0066】以上述べたように、本実施形態の保険取引処理装置によれば、保険の申込入または被保険者が、公衆網で保険会社の保険申込サーバにアクセスし、オンラインで保険の申込から契約までを行うことができ、効率よく保険契約を行うことができる。特に旅行保険の場

合、旅行直前に保険を申し込むこともあり、公衆網でオンライン契約を行うことにより、簡便かつ迅速に保険の契約を行うことができる。

【0067】また、本実施形態の保険取引処理装置によれば、旅行先、旅行目的、旅行期間などの旅行に関する情報、旅行地域による医療費用、盗難被害率等の地域格差、病歴、年齢などの顧客に関する情報に基づいて、保険契約に伴うリスク要因を分析して、顧客のニーズに応じた保険契約プランの候補を作成して、顧客に提示するため、顧客は旅行に伴うリスクに見合った補償内容の保険契約を選択することができる。また保険会社は保険契約に伴うリスクに見合った保険料を設定することができる。

【0068】また、本実施形態の保険取引処理装置によれば、申込人と被保険者の姓が一致するかどうかを事前チェックし、申込人が被保険者の家族ではない場合に、保険申込を成立させないようにすることができ、家族以外の者が無断で保険契約を結ぶ事故を未然に防ぐことができる。さらに死亡保険金の受取人データを被保険者の法定相続人を示す情報に設定することにより、被保険者の家族ではない者が保険金の受取人になるような保険契約が成立する事故を未然に防ぐことができる。

【0069】(実施形態2) 本発明の第2の実施形態を説明する。図14は、本実施形態の保険契約処理装置を含むシステムの全体図である。本実施形態の保険契約処理装置は、顧客が申し込んだ旅行保険の契約証64を空港、港、バスターミナル等で受け取ることができる点が、第1の実施形態の保険契約処理装置とは異なる。ユーザ端末10の利用者は、公衆網である通信ネットワーク30から保険申込サーバ40にアクセスして保険の申込を行い、保険契約が成立した場合に、保険証券の識別番号を通知される。保険証券の識別番号は通信ネットワーク30を介してユーザ端末10に通知されてもよく、電話、FAX等で顧客に通知されてもよい。顧客は旅行日に空港や港に行き、空港、港、バスターミナル等に設置されたセキュリティの高い端末装置の一例である自動引受機300で契約証64の発行を受ける。自動引受機300は保険会社の事務センタコンピュータ60と専用線で接続されており、顧客の保険契約情報を受信することができる。

【0070】図15は、自動引受機300の機能構成図である。自動引受機300は、識別情報入力部310と、照合結果受信部320と、契約情報受信部330と、契約証書印刷部340と、給紙部350とを有する。識別情報入力部310は、利用者に保険証券の識別情報を入力させる。保険証券の識別情報は、保険申込の際、ユーザ端末10の利用者に通知された保険証券の識別番号、被保険者のパスワード番号、被保険者の氏名などの情報である。識別情報は専用線で事務センタコンピュータ60に送信され、事務センタコンピュータ60は

識別情報を照合する。

【0071】照合結果受信部320は照合結果を事務センタコンピュータ60から受信する。照合結果が誤りである場合、照合できないため、保険証券を発行できないことを利用者に警告し、保険会社に問い合わせるように通知する。契約情報受信部330は、照合結果が正しい場合に、事務センタコンピュータ60から送信される契約情報を受信する。契約証書印刷部340は受信した契約情報に基づいて、給紙部350から供給される用紙に契約内容を印刷し、契約証64を発行する。給紙部350は契約証64を印刷する専用紙を保管しており、契約証書印刷部340に専用紙を供給する。給紙部350は鍵がつけられており、管理者以外の者が不正に専用紙を補給することができないようにされる。そのため、自動引受機300が専用紙に印刷する契約証64には保険会社から郵送される保険証券と同等の信用をもたせることができる。専用紙は容易に偽造できないように、保険会社のロゴや透かしなどが入ったものであることが好ましい。

【0072】自動引受機300は、各国の主要な国際空港に設置し、旅行者が出国だけでなく、到着国や経由国においても保険証券の発行が受けられるようにしてもよい。また自動引受機300は空港や港にある保険会社のカウンター、アシスタントセンター等に設置してもよい。

【0073】本実施形態の保険契約処理装置によれば、顧客は公衆網から保険会社の保険申込サーバに接続して保険の申込を行い、保険会社の保険契約処理装置と専用線により接続され、空港、港、バスターミナル等の公共の場所に設置された端末装置や、空港や港にある保険会社カウンターやアシスタントセンターに設置された端末装置から保険証券の発行を受けることができる。旅行保険の場合、旅行者は旅行に出かける前に保険証券を空港で受け取ることができ、旅行直前に旅行保険を申し込んだ場合でも空港で迅速に保険証券を受けることができる。また、保険証券を発行する端末装置は、保険会社の保険契約処理装置とセキュリティの高いネットワークで接続され、保険証券は鍵のかかった給紙部に保管される専用紙に印刷されるため、公共の場所に設置されていても高いセキュリティを確保することができる。

【0074】（実施形態3）本発明の第3の実施形態を説明する。図16は、本実施形態の保険契約処理装置400を含むシステムの全体図である。本実施形態の保険契約処理装置400を含むシステムでは、顧客が物品、不動産、証券等の購入の際に、保険の申込を付帯させることができる点が第1の実施形態の保険契約処理装置200とは異なる。第1の実施形態とは異なる構成と機能について説明し、同一部分の説明を省略する。以下、顧客が航空券、宿泊券または旅行ツアー等を購入する場合に旅行保険を付帯させて申し込む場合を説明する。顧客

はユーザ端末10から通信ネットワーク30を介して代理店サーバ20に接続する。代理店サーバ20は、物品、不動産、証券等の販売を行う商品購入サーバの一例である。代理店サーバ20は、ユーザ端末10がインターネット上でアクセスすることのできるWWW（World Wide Web）のサーバであり、顧客がクレジットカード番号のような個人情報を安全に送信することができるように、SSL（Secured Socket Layer）等のセキュリティの高い通信方式を用いて、ユーザ端末10との間でデータのやりとりをすることが好ましい。

【0075】ユーザ端末10の利用者は代理店サーバ20にアクセスして、旅行先、旅行目的、旅行日程、旅行者の氏名や住所などの情報、クレジットカードの情報等を入力して、航空券や旅行ツアーの申込を行う。航空券や旅行ツアーの申込が終わると、代理店サーバ20は、旅行保険の申込を案内する情報をユーザ端末10に表示する。旅行保険の申込案内情報に保険申込サーバ40へのリンク情報を含ませる。ユーザ端末10の利用者は保険申込サーバ40へのリンク情報に従って、たとえばリンクをクリックすることにより、保険申込サーバ40に自動接続して保険の申込を行う。

【0076】ユーザ端末10の利用者が代理店サーバ20に接続して入力した旅行先、旅行目的、旅行日程などの商品情報と、購入者の氏名、住所、生年月日、クレジットカード番号等の購入者情報は、通信ネットワーク30を介して保険申込サーバ40に送信され、引き継がれる。引き継がれるデータはクレジットカード番号等の個人情報が含まれるため、代理店サーバ20と保険申込サーバ40は、SSL（Secured Socket Layer）等のセキュリティの高い通信方式を用いて、引き継がれるデータのやりとりをすることが好ましい。商品情報と購入者情報が保険申込サーバ40に引き継がれるため、ユーザ端末10の利用者は保険申込サーバ40にアクセスして保険の申込を行う際、商品情報と購入者情報を再入力する必要がない。また、保険申込サーバ40は引き継がれた商品情報に基づいて、保険契約プランの候補を作成することができる。

【0077】図17は、本実施形態の保険契約処理装置400の機能構成図である。第1の実施形態とは、申込データ入力部210が購入情報入力部212に置き換わる点異なる。同一符号を付した構成要素については第1の実施形態の取引処理装置200と同じであるから説明を省略する。

【0078】購入情報入力部212は、代理店サーバ20から購入商品の情報、購入者の情報を通信ネットワーク30を介して受け取る。購入商品の情報を予め得ているため、旅行先、旅行目的、旅行日程などの商品情報や、購入者の氏名、住所などの購入者情報を改めてユーザ端末10の利用者に入力させる必要はない。

【0079】また、商品情報と購入者情報に基づいて、

保険契約のリスク要因を分析することができ、利用者のニーズに合った保険契約プランを提示することができる。たとえば、代理店サーバ20から旅先でのレンタカーの使用の有無などの旅行情報を受け取った場合、自動車運転者賠償責任特約を付帯させたプランを作成することができる。

【0080】図18は、保険契約処理のフローチャートである。購入情報入力部212は、代理店サーバ20から購入商品情報及び購入者情報を受信して引き継ぐ(S98)。図19は、利用者が代理店サーバ20で商品を購入した場合にユーザ端末10に表示される商品購入情報の説明図である。利用者は旅行ツアーを購入しており、フィールド850に購入者の氏名、フィールド852に購入者の生年月日、フィールド854に購入者のパスポート番号、フィールド802に旅行先、フィールド804に旅行期間、フィールド806に旅行目的が記載されている。また、フィールド808には利用者がエコノミークラスの航空券を購入したことが記載されている。フィールド810にはレンタカーを申し込んだことが記載されている。これらの購入商品情報及び購入者情報は、代理店サーバ20から保険申込サーバ40へ送信され、引き継がれる。また画面には表示されていない情報、たとえばクレジットカード情報や購入者の旅行ツアー購入履歴などが代理店サーバ20から保険申込サーバ40に引き継がれてもよい。

【0081】旅行ツアーの購入とともに、旅行保険の契約を促すメッセージを表示し、保険申込サーバ40へのリンク800を表示する。利用者はリンク800をクリックすることにより、保険申込サーバ40に接続し、商品購入情報と購入者情報が保険申込サーバ40に送信されて引き継がれる。

【0082】図18に戻って説明する。保険申込サーバ40は、引き継がれた商品購入情報と購入者情報に基づいて、標準的な保険契約プランを提示する(S99)。次に、第1の実施形態と同様の告示事項入力処理(S100)を行う。購入情報入力部212は、引き継いだ申込データをユーザ端末10に送信して表示させ、ユーザ端末10の利用者に確認させるとともに、保険申込に必要な不足データを入力させる(S105)。以下の処理フローは第1の実施形態と同じであるから説明を省略する。図20は、取引提示部230がユーザ端末10に提示する保険契約プランの説明図である。代理店サーバ20から引き継いだ旅行先、旅行期間、旅行目的などの商品情報からリスクを判断して作成した保険契約プランが挙げられる。アメリカへの旅行で、レンタカー使用であるから、自動車運転者賠償責任が付帯し、賠償責任の意識の高いアメリカであるため、賠償責任を増額したプランが提示される。また旅行期間をカバーする保険期間に対する保険料が提示される。

【0083】上記の説明では、契約証書発行部240

は、保険証券を保険会社の専用紙に印刷したが、顧客が購入した航空券に保険契約証を印刷してもよい。

【0084】また、上記の説明では、顧客が旅行代理店で航空券または旅行ツアーの購入をした場合に、旅行保険を申し込むことができる保険契約処理システムを説明したが、実施形態はこれに限られない。自動車販売店のサーバで自動車を購入する申込を行う顧客が、自動車保険を申し込む場合、不動産を購入し、借家人賠償、家財などの火災保険を申し込む場合、自動車、家電製品、コンピュータ機器等の購入に付随する修理保証または延長修理保証契約の申込を行う場合、インターネットのオンライン販売サーバで高額な買い物をする場合に商品にかかる盗難や破損に対する保険を申し込む場合、インターネットでレンタカーの申込をする場合の賠償責任等の対人補償、対物補償、搭乗者補償、車両補償等の自動車保険を申し込む場合、インターネットで各種金融商品の購入をする場合に金融商品にかかる保険を申し込む場合など、物品、不動産、証券等の購入に伴って、各種保険を付随させて申し込む場合に、本実施形態の保険契約処理装置を用いて、物品、不動産、証券等の購入と保険申込を連携させることができる。

【0085】以上述べたように、本実施形態の保険契約処理装置によれば、顧客はオンラインショッピング等で商品を購入した場合に、購入した商品に合った保険の申込を行うことができる。商品情報と購入者情報が保険契約処理装置に引き継がれるため、商品情報と購入者情報を再入力する手間が省ける。また商品情報に基づいて、購入した商品に合った保険契約プランが提示されるため、顧客は商品の購入の際、簡便かつ効率的に最適な保険契約を行うことができる。

【0086】(実施形態4) 本発明の第4の実施形態を説明する。第1、第2、及び第3の実施形態の保険契約処理装置は、汎用コンピュータで実現してもよい。図21は、汎用コンピュータ600のハードウェア構成を示すブロック図である。図21において、コンピュータ600は、CPU602はROM604及びRAM606に格納されたプログラムに基づいて動作する。入力装置608により、コンピュータ600の利用者がデータやコマンドを入力することができる。格納装置の一例としてのハードディスクドライブ610は、設定情報及びCPU602が動作するプログラムを格納する。

【0087】フロッピーディスクドライブ614はフロッピーディスク624からデータまたはプログラムを読み取りCPU602に提供する。CD-ROMドライブ616はCD-ROM626からデータまたはプログラムを読み取りCPU602に提供する。通信インタフェース618は、通信ネットワーク30に接続してデータを送受信する。データベースインタフェース612は、各種データベース622と接続してデータベースにおけるデータを送受信する。さらに、コンピュータ600は

ディスプレイ 628 に接続するためのインタフェースを備え、ディスプレイ 628 に情報を入力する画面などを表示することができる。

【0088】CPU 602 が実行するソフトウェアは、フロッピーディスク 624 または CD-ROM 626 等の記録媒体に格納されて利用者に提供される。記録媒体に格納されたソフトウェアは圧縮されていても非圧縮であっても良い。ソフトウェアは記録媒体からハードディスクドライブ 610 にインストールされ、RAM 606 に読み出されて CPU 602 により実行される。

【0089】記録媒体に格納されて提供されるソフトウェア、即ちハードディスクドライブ 610 にインストールされるソフトウェアは、機能構成として、申込データ入力モジュール又は購入情報入力モジュールと、不正契約防止部モジュールと、リスク判断部モジュールと、取引提示モジュールと、契約証書発行モジュールと、決済処理モジュールと、通信インタフェース 260 と、データベースインタフェース 270 とを有する。前記各モジュールがコンピュータ 600 に働きかけて、CPU 602 に行わせる処理は、それぞれ第 1、第 2 及び第 3 の実施形態の保険契約処理装置における、対応する部材の機能及び動作と同一であるから、説明を省略する。

【0090】図 21 に示した、記録媒体の一例としてのフロッピーディスク 624 または CD-ROM 626 には、本出願で説明した全ての実施形態に係る保険契約処理装置の動作の一部または全ての機能を格納することができる。

【0091】これらのプログラムは記録媒体から直接 RAM に読み出されて実行されても、一旦ハードディスクドライブにインストールされた後に RAM に読み出されて実行されても良い。更に、上記プログラムは単一の記録媒体に格納されても複数の記録媒体に格納されても良い。又、符号化した形態で格納されていても良い。

【0092】記録媒体としては、フロッピーディスク、CD-ROM の他にも、DVD 等の光学記録媒体、MD 等の磁気記録媒体、PD 等の光磁気記録媒体、テープ媒体、磁気記録媒体、IC カードやミニチュアカードなどの半導体メモリ等を用いることができる。又、専用通信ネットワークやインターネットに接続されたサーバシステムに設けたハードディスクまたは RAM 等の格納装置を記録媒体として使用し、通信網を介してプログラムを保険契約処理装置に提供しても良い。このような記録媒体は、保険契約処理装置を製造するためのみに使用されるものであり、そのような記録媒体の業としての製造および販売等が本出願に基づく特許権の侵害を構成することは明らかである。

【0093】以上、実施の形態を説明したが、本発明の技術的な範囲はこれらの記載には限定されない。これらの実施の形態に多様な変更または改良を加えることは当業者には理解されるところである。そのような変更例

を説明する。上記では、旅行保険契約を例にとって、本発明の契約処理装置の一例として保険契約処理装置を説明したが、契約処理装置は、他の各種保険の保険契約処理にも用いることができる。また、保険契約処理に限らず、物品、証券等の取引における契約処理に用いることができ、契約に伴うリスクを判断してユーザ端末の利用者が申し込む契約を成立させ、契約に伴う処理を行うことができる。また上記では支払方法として、クレジットカード会社のネットワークと接続して、クレジットカードによって支払う場合を説明したが、銀行、郵便局等のネットワークと接続し、キャッシュカードによる振替やデビットカードによる支払を行うようにしてもよい。

【0094】以上、本発明を実施の形態を用いて説明したが、本発明の技術的範囲は上記実施の形態に記載の範囲には限定されない。上記実施の形態に、多様な変更又は改良を加えることができる。その様な変更又は改良を加えた形態も本発明の技術的範囲に含まれ得ることが、特許請求の範囲の記載から明らかである。

【0095】

【発明の効果】上記説明から明らかなように、本発明によれば商品の購入に伴う保険契約をい簡便かつ効率よく行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本実施形態の保険契約処理装置を含むシステムの全体図である。

【図 2】 保険契約処理装置 200 の機能構成図である。

【図 3】 顧客データベース 52 に格納される顧客情報の説明図である。

【図 4】 契約データベース 54 に格納される契約情報の説明図である。

【図 5】 保険の申込から保険証券の発行までの処理のフローチャートである。

【図 6】 申込データの入力処理 S106 のフローチャートである。

【図 7】 セキュリティチェックの処理 S107 のフローチャートである。

【図 8】 ユーザ端末 10 に表示される告知事項入力画面の説明図である。

【図 9】 ユーザ端末 10 に表示される申込データの入力画面の説明図である。

【図 10】 リスク判断部 220 が用いるリスク要因分析テーブルである。

【図 11】 リスク判断部 220 が用いる保険料決定要因テーブルである。

【図 12】 ユーザ端末 10 に表示される保険契約プランの説明図である。

【図 13】 契約証 64 の説明図である。

【図 14】 本実施形態の保険契約処理装置を含むシステムの全体図である。

【図15】 自動引受機300の機能構成図である。

【図16】 本実施形態の保険契約処理装置400を含むシステムの全体図である。

【図17】 取引処理装置400の機能構成図である。

【図18】 保険契約処理のフローチャートである。

【図19】 利用者が代理店サーバ20で商品を購入した場合にユーザ端末10に表示される商品購入情報の説明図である。

【図20】 取引提示部230がユーザ端末10に提示する保険契約プランの説明図である。

【図21】 汎用コンピュータ600のハードウェア構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

10 ユーザ端末 20 代理店サーバ
30 通信ネットワーク 40 保険申込サーバ
50 データサーバ 52 顧客データベース
54 契約データベース
50 80 ゲートウェイ
52 顧客データベース
54 契約データベース

60 事務センタコンピュータ

62 プリンタ

64 契約証

70 ホストコンピュータ

80 ゲートウェイ

90 カード与信会社サーバ

100 CAFIS

200、400 保険契約処理装置

210 申込データ入力部

212 購入情報入力部

218 不正契約防止部

220 リスク判断部

230 取引提示部

240 契約証書発行部

250 決済処理部

260 通信インタフェース

270 データベースインタフェース

300 自動引受機

310 識別情報入力部

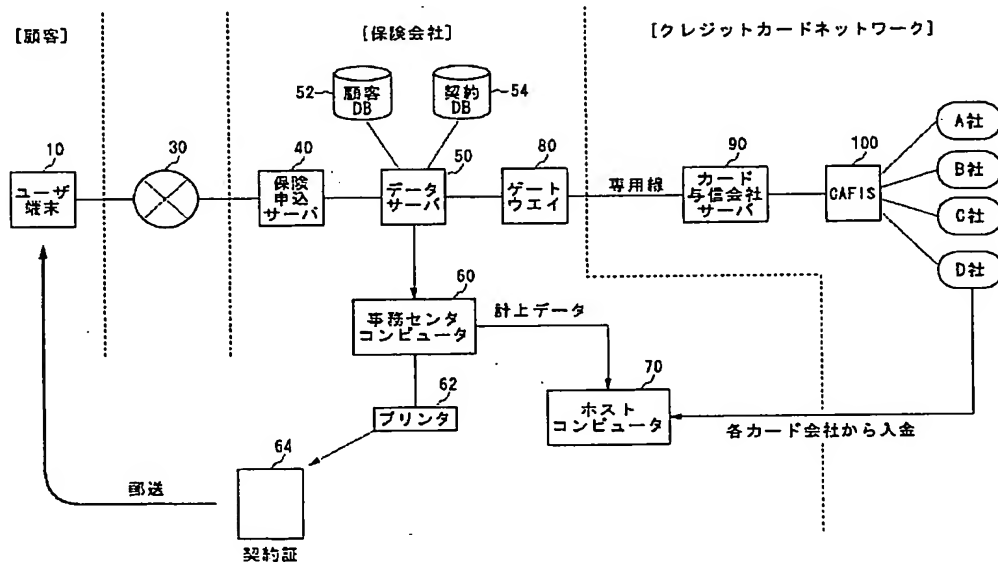
320 照合結果受信部

330 契約情報受信部

340 契約証書印刷部

350 給紙部

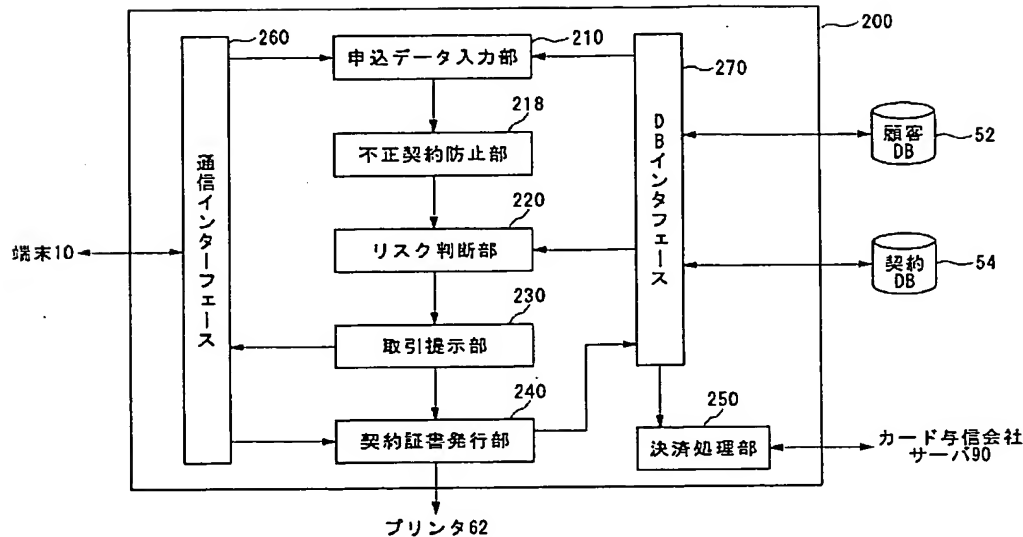
【図1】



【図11】

保険料決定要因	保険料	
旅行国	国ごとに異なる保険料を設定	
旅行期間	旅行期間が長いほど一日当たりの保険料を安くする	
旅行目的	危険な職業の遂行	〇〇%増
	危険なスポーツへの参加	〇〇%増
	⋮	⋮
旅行人数	被保険者人数によって割引する	

【図2】



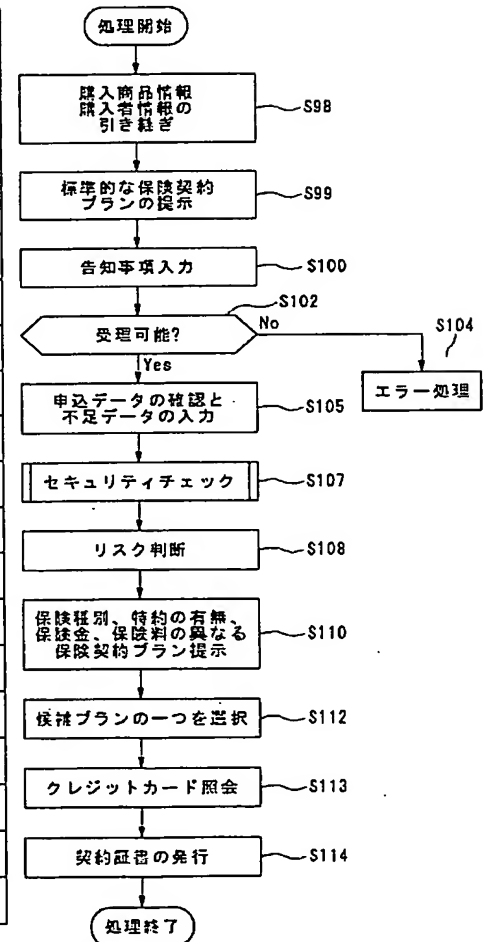
【図3】

名前
住所
性別
年齢
職業・職種
パスポート番号
クレジットカード番号
病歴
保険金請求歴
事故歴
喫煙有無
薬物等中毒有無
扶養家族人数
他保険契約
他社契約謝絶歴有無

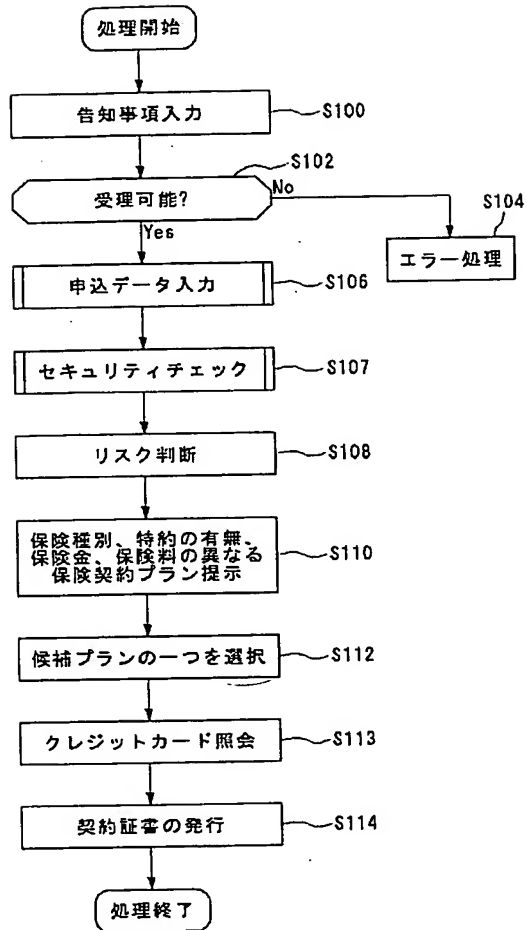
【図4】

申込入氏名
申込入住所
被保険者氏名
被保険者住所
被保険者生年月日
被保険者性別
被保険者パスポート番号
クレジットカード名義人
クレジットカード番号
クレジットカード与信結果
保険契約種別
保険金額
保険期間
保険料
告知内容
死亡保険金受取人
代理店コード
申込日
契約成立日
保険証券発行日

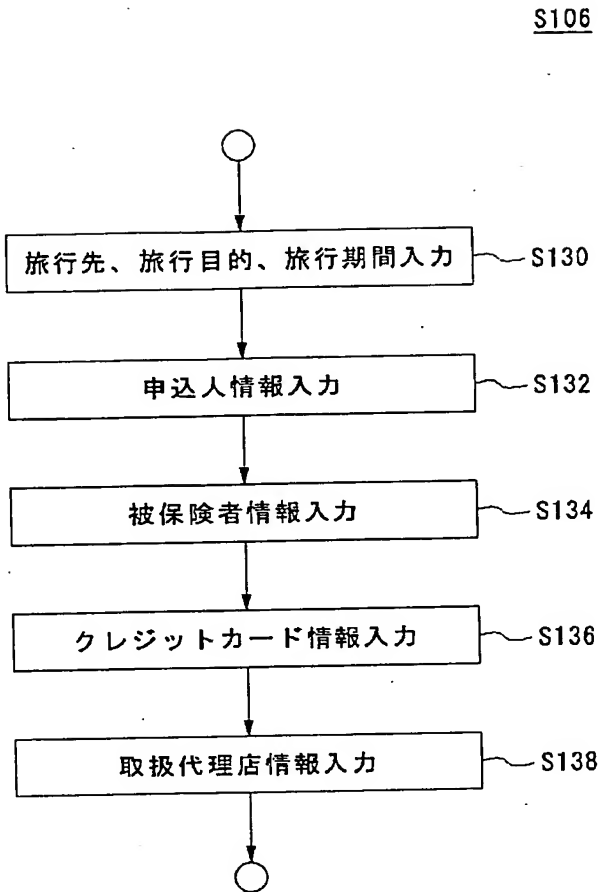
【図18】



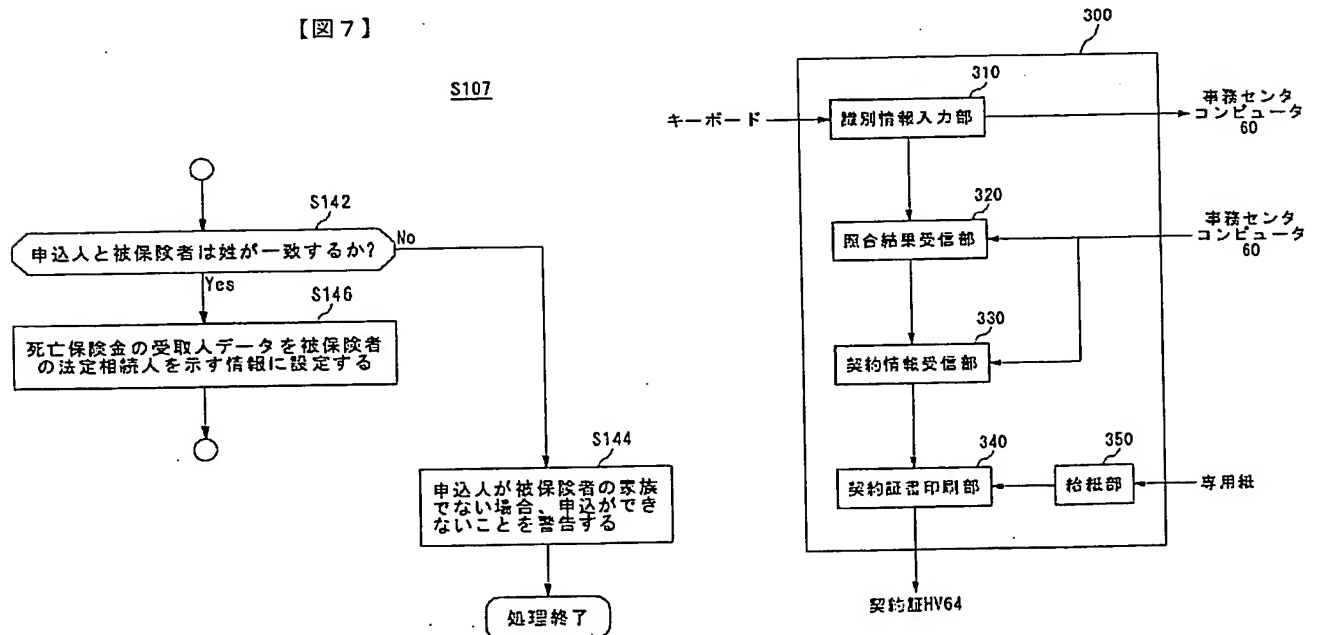
【図5】



【図6】



【図15】



【図8】

契約にあたってのご質問	
下記のご質問（告知）事項につきご確認ください。	
ご旅行される方（被保険者）についてお答えください	
1. 現在、ケガや病気で治療・投薬を受けているか、または従来な日常生活に支障がありますか？また、これまで重傷病を患ったことがありますか？	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
2. 過去に傷害保険金を請求または受領したことがありますか？	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
3. 傷害死亡保険金額の合計が〇〇万円を超える他の保険契約がありますか？	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
4. ご旅行中に危険な運動をなさいますか？ （山岳登山、ハンググライダー搭乗等）	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
5. ご旅行中に危険な業務に従事しますか？ （金属加工、建設現場作業等）	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
6. 現在、日本国外からアクセスしていますか？また、日本国外に在住していますか？	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
<div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div>送信</div> <div>クリア</div> </div>	

【図10】

リスク要因	提案プラン	
各国の医療費用の格差	北米・欧州	高額の治療費用
	アジア	低額の治療費用
盗難被害の格差	フランス イタリア	携行品保険の増額
	⋮	⋮
賠償意識の格差	アメリカ	賠償責任の 保険金額増加
	⋮	⋮
救済者費用の格差	往復の航空運賃によって 救済者費用の保険金額を増減	
交通事情の格差	アメリカ カナダ	レンタカー手配の場合 自動車運転者賠償責任 特約を付帯
	⋮	⋮

【図9】

どちらにご旅行ですか？

☐ ヨーロッパ ☐ アフリカ ☐ アジア ☐ オセアニア ☐ グアム・サイパン
☐ ハワイ ☐ 北米 ☐ 南米 ☐ その他

旅行目的を選んでください。

☒ 観光 ☐ 留学 ☐ 商用 ☐ その他

保険をおかけになる期間をご指定ください。

(出発日) 1999 年 12 月 20 日から
 (帰宅日) 1999 年 12 月 30 日まで

申込人を入力してください。
(クレジットカード名義人と同一とします。)

姓 名

ローマ字: YAMADA TARO

漢 字: 山田 太郎

郵便番号:

ご住所:

電話番号:

ご旅行される方(被保険者)についてお尋ねします。

姓 名

ローマ字:

郵便番号:

ご住所:

生年月日:

ご利用になるクレジットカード情報を入力してください。

クレジットカード会社:

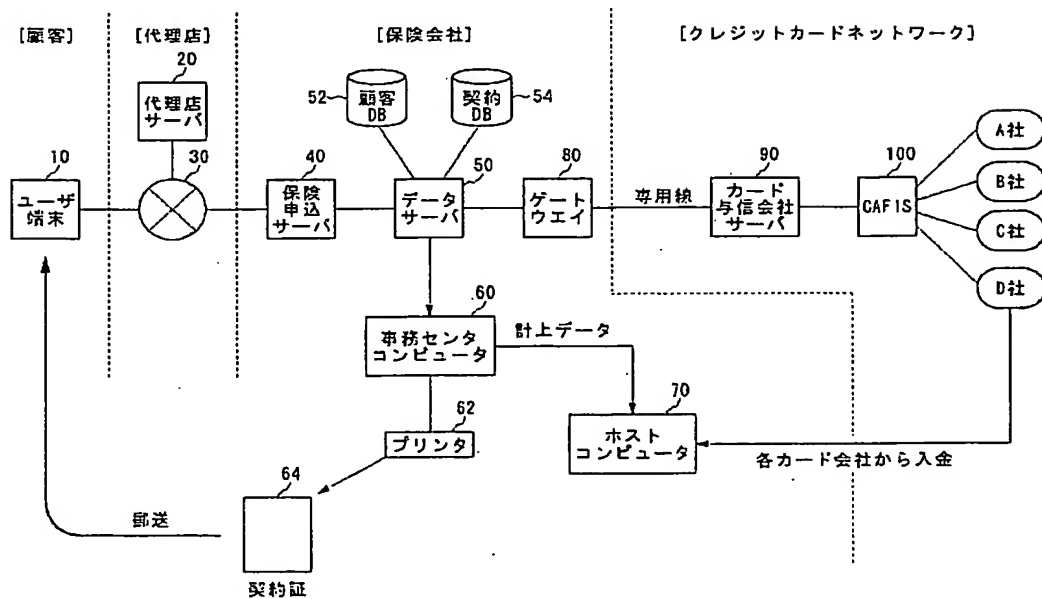
クレジットカード番号: 1111-1111-1111-1111

有効期限: 月 / 年

取扱代理店のご指定がある場合は、代理店コードおよび代理店名を入力してください。

☒ 代理店コード: AA - 1234
☒ 代理店名: ○○旅行代理店

【図16】



【図12】

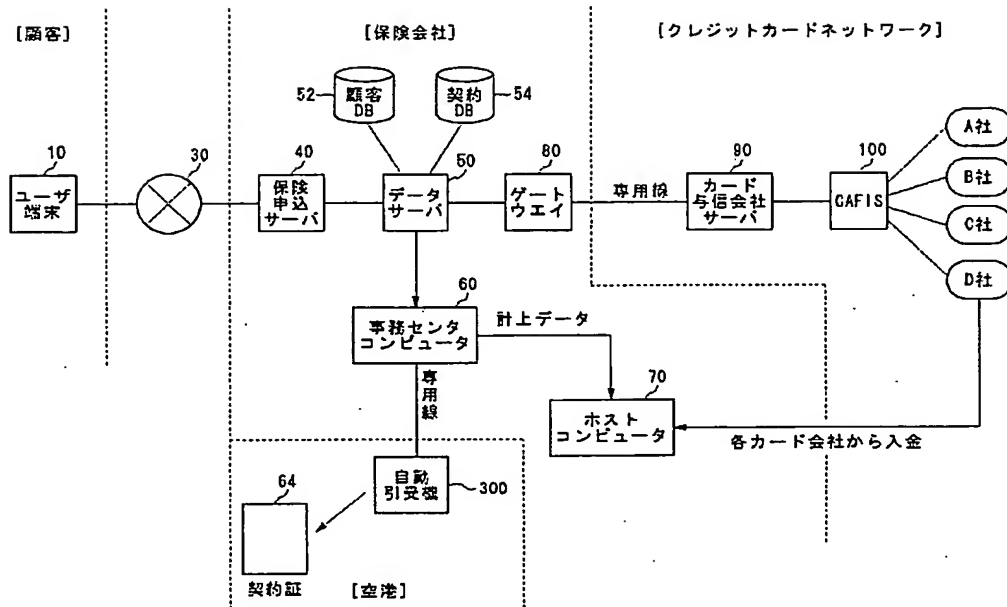
おすすめの保険契約プラン					
ご希望のご契約タイプを次のいずれかからお選びください。					
ご契約タイプ	フライトプラン			エコノミープラン	
	◎ Aタイプ	○ Bタイプ	○ Cタイプ	○ Dタイプ	○ Eタイプ
保険金額					
傷害 疾病	死亡・後遺障害	××××万円	××××万円	××××万円	××××万円
	治療費用	×××万円	×××万円	×××万円	×××万円
	治療費用	×××万円	×××万円	×××万円	×××万円
	死亡	××××万円	××××万円	××××万円	××××万円
	賠償責任	××××万円	××××万円	××××万円	××××万円
	救護者費用	×××万円	×××万円	×××万円	×××万円
	携行品	××万円	××万円	××万円	××万円
保険料					
	3日(2泊3日)まで	××××円	××××円	××××円	××××円
	4日(3泊4日)まで	××××円	××××円	××××円	××××円
	6日(5泊6日)まで	××××円	××××円	××××円	××××円
	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

【図13】

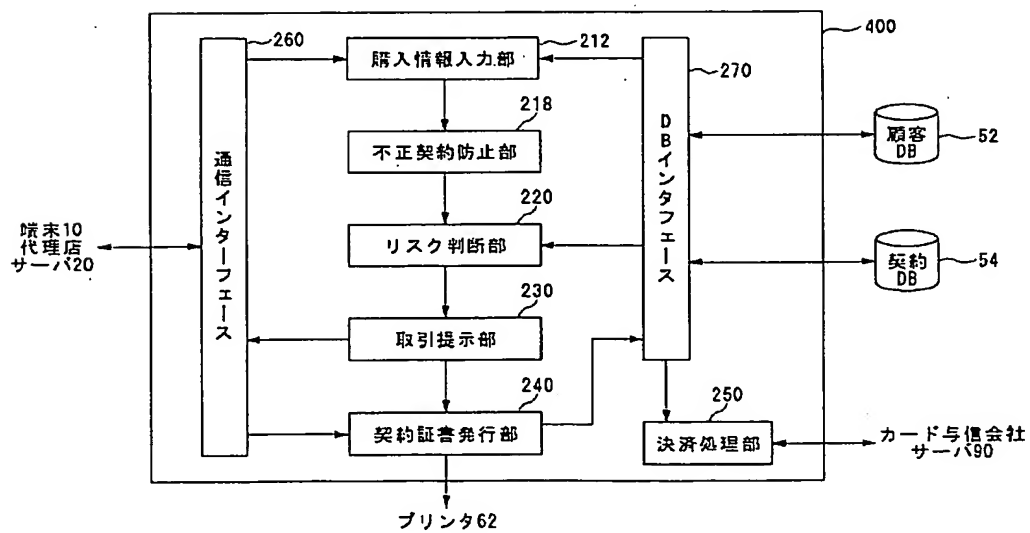
海外旅行傷害保険契約証書

710	契約証番号	AI60000390	712	契約日	1999年11月18日
714	パスポート番号	AA1111111			
720	被保険者	氏名	taro yamada	性別	男
		住所	〒260-××× 千葉県千葉市〇〇区1-1-1		
		電話番号	03-1111-1111	生年月日	昭和30年11月11日
730	ご契約内容	傷害死亡・後遺障害	¥××,×××,×××		
		傷害治療費用	¥×,×××,×××		
		疾病治療費用	¥×,×××,×××		
		疾病死亡	¥×,×××,×××		
		賠償責任	¥××,×××,×××		
		救護者費用	¥×,×××,×××		
		携行品	¥×××,×××		
740	保険契約者	氏名	鈴木 一郎(クレジットカード名義人と同一)		
		住所	〒1××-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇1-1-1		
		電子メール	××××@×××.××.co.jp		
750	旅行先	オセアニア	旅行目的	観光	
754	保険期間	1999年11月18日～1999年11月27日(保険期間)10日間			
756	契約タイプ	03 保険料	¥9,310(クレジットカードによる一括払い)		
760	死亡保険金受取人	被保険者の法定相続人	取扱代理店	AA-1234	

【図14】



【図17】



【図19】

ご購入いただいた旅行ツアー

お名前 山田太郎 850 生年月日 昭和30年11月10日 852

パスポート番号 AA111111

旅行先 ロサンゼルス 802 854

旅行期間 2000年1月20日～1月24日(4泊5日)

旅行目的 観光 806 804

スケジュール

1 2000年1月20日 ○○便 ○○時○○分 成田初
○○時○○分 ロサンゼルス着

2～3 2000年1月21日 ○○ホテル泊
～22日 自由行動
○○ホテル泊

4 2000年1月23日 ○○便 ○○時○○分 ロサンゼルス発

5 ○○時○○分 成田着

808 エコノミークラス 810 レンタカー有

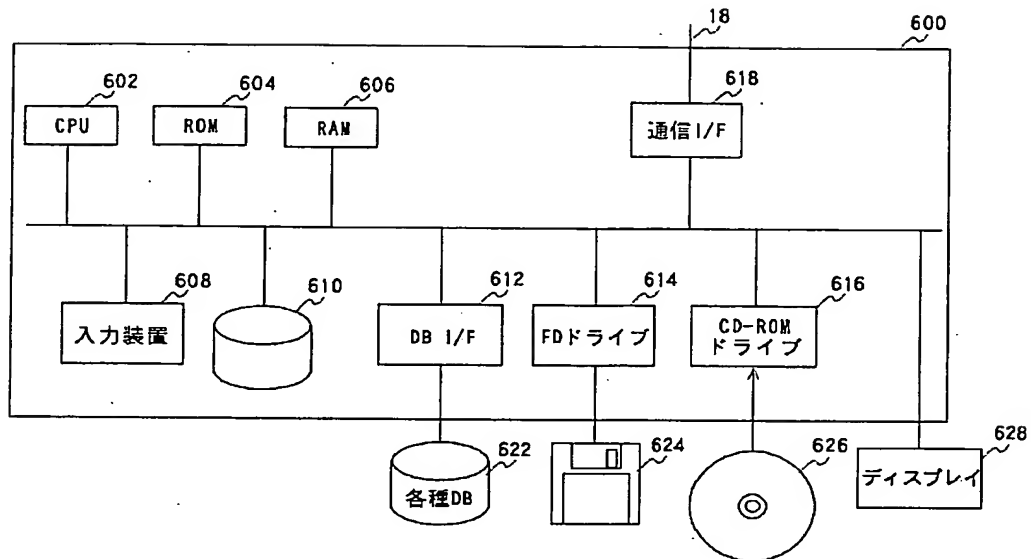
あなたにぴったりの旅行保険のご契約をご案内します。 800

便利なオンライン旅行保険契約サーバへ

【図20】

おすすめの保険契約プラン					
ご希望のご契約タイプを次のいずれかからお選びください。					
エコノミープラン					
ご契約タイプ		○ Cタイプ	⊕ Dタイプ	○ Eタイプ	
保険金額					
傷害 疾病	死亡・後遺障害	××××万円	××××万円	××××万円	
	治療費用	×××万円	×××万円	×××万円	
	治療費用	×××万円	×××万円	×××万円	
	死亡	××××万円	××××万円	××××万円	
	賠償責任	××××万円	××××万円	××××万円	
	救護者費用	×××万円	×××万円	×××万円	
	携行品	××万円	××万円	××万円	
自動車運転者賠償責任		××××万円	××××万円	××××万円	
保険料					
6日(5泊6日)まで		××××円	××××円	××××円	

【図21】



フロントページの続き

(72)発明者 武田 正夫
 東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 エ
 イアイユーインシュアランスカンパニー
 (エイアイユー保険会社) 内
 (72)発明者 田代 明
 東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 エ
 イアイユーインシュアランスカンパニー
 (エイアイユー保険会社) 内

(72)発明者 鳴海 和重
 東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 エ
 イアイユーインシュアランスカンパニー
 (エイアイユー保険会社) 内
 (72)発明者 後藤 純子
 東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 エ
 イアイユーインシュアランスカンパニー
 (エイアイユー保険会社) 内
 (72)発明者 根岸 貴博
 東京都千代田区丸の内一丁目1番3号 エ
 イアイユーインシュアランスカンパニー
 (エイアイユー保険会社) 内

Fターム(参考) 5B049 AA01 AA04 BB00 CC00 DD01
 GG02